

都中道研

第一二二号

会長 白倉 美智（調布市立第六中学校長）

昭和から令和に元号が変わり、中学校では一年先行した小学校に引き続き、この四月から文部科学省が検定する教科書を使用しての「特別の教科 道德」が始まりました。

平成二十七年度から三十九年度までの四年間の「移行期間」は、各学校、各地区が教科化に当たつての様々な課題を解決するための期間でしたが、特に最近では授業改善をねらいとする道德の授業研究に関心が高まっていることを実感します。その証左に、本研究会の部員総会・研修会はじめ毎年二月に開催する研究発表大会への参加希望者も増えています。

ご案内のとおり、中学校学習指導要領では、「特別の教科 道德」を要とした道德教育を通じて、個人が直面するさまざまな状況の中で、そこにある事象を深く見つめ、自分はどうすべきか、自分に何ができるかを判断し、実行する手立てを考え、実践できる力を育んでいくことが求

められています。そのため、従来の道德の時間のよさを踏まえつつ、道德的な課題を自分自身の問題として捉え向き合う「考え、議論する道德」への質的転換を図ることが鍵となります。

各中学校の取組状況に耳を傾けると、道德科の指導法に関する研究を校内研究に位置付け、道德科の指導と評価の在り方を全教員で共通理解するなど順調に推進している学校がある一方、未だ戸惑っている中学校教員も少なくないようです。

そこで、本研究会では、引き続き「考え、議論する道德」に向けて研究を深め、情報を提供してまいります。また、その成果を、令和二年二月十三日（木）に江東区立大島西中学校で開催される研究発表大会で全都に向けて発信していく予定です。

本研究会の会員におかれましては、部員総会・研修会や研究発表大会に参加し、互いに研修し、その成果を各学校、各地区で大いにいかしてい

ただくようよろしくお願いいたします。また、関係の皆様には、今後とも本研究会へのご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

令和元年度の研究部活動計画

研究部長 木村 知広

（板橋区立赤塚第三中学校長）

研究主題をもとに毎月一回の研究部会を開催し、研究を推進しています。

一 研究主題

「教材の特質に応じた多様な指導」

二 主題設定の理由

「特別の教科 道德」の指導方法・評価等について（報告）平成二十八年七月二十二日（道德教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議）において、研究団体に対して「道德科のもつ大きな現代的意義を踏まえ、道德科の特質を踏まえた質の高い多様な指導方法、特に問題解決的な学習や体験的な学習に関する研究をこれまで以上に進めるとともに、各学校や一人一人の教師の積極的で斬新な取組を歓迎、支援し、道德教育の創発的な発展を促すことが求められる。」と具体的に示すとともに、それぞれの指導方法には固有の特長と踏まえるべき留意点として教材との関係も示しています。

そこで、東京都中学校道德教育研究会としては、専門家会議報告及び中学校学習指導要領の主旨に則り、教材の特質を踏まえ、問題解決的な学習、道德的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れた指導方法の実践及び研究を蓄積し、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習の充実を図るために、本研究主題を設定しました。

三 活動の柱

○道德教育をめぐる今日的な課題に対応した先進的な研究を推進し、全日本中学校道德教育研究大会及び、関東甲信越中学校道德教育研究大会の発表に向けて、内容を深めていくこと。

○道德教育の裾野を広げるためのワークショップを開催し、教材研究および指導方法についての研鑽を深めるとともに、二月に開催する研究発表大会での公開授業で成果を発表すること。

○道德科の取組実態と課題等を整理することを目的に、道德教育の充実に係るアンケート調査を実施すること。

事務局だより

事務局長 月田 行俊

(江東区立大島西中学校長)

一 総会・研修会

令和元年五月二十四日(金) 中野サンプラザにて、令和元年度の総会・研修会が行われました。

この総会において、臼倉美智会長(調布市立第六中学校長)が承認されました。また、副会長、会計監査以下各部長・副部長も承認され、新たな体制が整備されました。令和二年二月十三日に実施される「研究発表大会」及び「特別の教科道德」実施元年として、充実した活動を行っているという熱意に満ちた総会・研修会となりました。

総会での主な承認事項及び研修会の概要は次の通りです。

(一) 総会

平成三十年度活動報告・決算の承認、令和元年度活動計画・予算の承認・新役員の承認等が行われました。

今年度の研究主題は、「教材の特質に応じた多様な指導」に決まりました。この主題は、専門家会議報告

及び中学校学習指導要領の主旨に則り、これまでの研究実践の蓄積に加え、問題解決的な学習や体験的な学習に関する実践や研究の更なる蓄積が必要であるといった考えに立っています。

そして、今年度から取り組んでいる教科化も踏まえ、研究を深めていきます。

(二) 研修会

研修会は、これまで九年間お世話になった、前文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、前国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官であり、この四月からは國學院大學教育開発推進機構教授となられた澤田浩一先生より、「道德科元年における実践について」を演題に、ご講演いただきました。

◆講演の内容(一部)

オールローテーションというのは難しいですね。それはこちらは想定はしていませんでした。副担任の先生や校長先生やいろいろな先生に授業に入ってもらいたいことも確かです。あとは、現代的な課題というのは、今までの内容と違うので、教科の専門性というものも生かしてもらったほうがよい、そういう

部分については、何も知らないでその教材をやるよりは、それに詳しい先生で、それに思い入れのある先生にやつてもらったほうがよいので、そういう部分を学期に1回ぐらいはやつてもらいたいというぐらいのイメージでした。それよりも、できればTTの時間を増やしてもらいたい。担任の先生が観察に回れる時間を少しでも、そういう意味でのローテーションです。



道德性の評価においては、生徒自らが成長を実感し、新たな課題や目標を見つけられるよう、教師が生徒の道德的な成長を温かく見守り、よりよく生きようとする努力を認め、勇気付ける働きを重視する必要があります。

と示されています。評価の対象は、道德科の授業の学習状況ですから、生徒が熱心に取り組むことができる授業へとレベルアップを図ることが必要です。校外での研修を定例化するなどして、自信をもって授業に臨むことができる教材を少しずつ増やしていく地道な努力が大切です。各学期の最後などに振り返りの時間を設けた際に、よりよい学びがあったという感想がたくさん出るような授業づくりを心掛けて研修します。

など、具体的で大変内容の深いご講演をしていただきました。そして、参加者も多く熱気ある研修会になりました。



二 第一回部員総会・研修会

令和元年八月二十二日(木)中野サンプラザにて、令和元年度第一回部員総会・研修会が行われました。

臼倉美智会長のあいさつに続き、来賓として、この四月に着任された文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官の飯塚秀彦先生、顧問の辻野具成先生からごあいさつをいただきました。

(一) 部員総会

庶務、会計、研究、広報の各部署より進捗状況と部員への周知事項の報告がありました。

(二) 研修の部

①今年度の研究経過

木村知広研究部長より、本年度の研究経過について報告がありました。

②第五十三回全日本中学校道德教育研究大会鳥取大会「東京担当」の発表の概要について

大会主題「人間としての生き方について自らの考えを深める道德教育のあり方」道德科としてのこれからを試行する、分科会主題「道德科における指導と評価の在り方」

について、発表者である武田 彩教諭(府中市立府中第一中学校)より説明がありました。

③第四十八回関東甲信越中学校道德教育研究大会茨城大会「東京担当」の発表の概要について

大会主題「自己の生き方について考えを深め、共によりよく生きる生徒を育む道德教育」、分科会主題「家庭や地域社会との連携を図った道德教育」について発表者である三浦摩利 指導教諭(多摩市立多摩中学校)より説明がありました。

(三) 講話

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官の飯塚秀彦先生より講話と、「道德科指導の充実に向けて」について講演いただきました。

○なぜ「考え、議論する道德」なのか

○道德科の目標

○道德科指導の充実に向けて

二十年後の社会といった将来を見据えた内容や、学習指導要領解説について深く掘り下げた解説など、多くの参加者が熱心に学ぶことができた会となりました。



三 東京都中学校道德教育研究会 研究発表大会

道德教育の一層の充実・発展のため東京都中学校道德教育研究会では、本年度も次のとおり研究発表大会を実施いたします。

多数の方のご参加を賜り、ご指導・ご助言をいただきますようお願い申し上げます。

○期 日

令和二年二月十三日(木)
十三時二十五分～

○会 場

江東区立大島西中学校

○内 容

公開授業・研究発表・指導講話
○講 師

文部科学省初等中等教育局
教育課程課教科調査官
国立教育政策研究所
教育課程研究センター
教育課程調査官

飯塚 秀彦 氏



平成三十一年度の研究部活動報告

研究部長 木村 知広

(板橋区立赤塚第三中学校長)

第一回 平成三十一年四月二十日(土)
会場 板橋区立赤塚第三中学校

①平成三十一年度(令和元年度)の研究部の活動方針の確認

「特別の教科 道德」の指導方法・評価等について(報告)(平成二十八年七月二十二日 道德教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議)において、研究団体に対して、『道德科の特質を踏まえた質の高い多様な指導方法、特に問題解決的な学習や体験的な学習に関する研究をこれまで以上に進める』ことが求められていることから、これまでの研究実践の蓄積に加え、問題解決的な学習や体験的な学習に関する実践や研究を推進する。

②平成三十一年度(令和元年度)東京都中学校道德教育研究会研究部活動計画の検討

③平成三十一年度(令和元年度)全日本中学校道德教育研究大会・関東甲信越中学校道德教育研究大会の発表者の検討

第二回 令和元年五月十一日(土)
会場 板橋区立赤塚第三中学校

①令和元年度東京都中学校道德教育研究会研究主題と研究部活動計画の検討

【研究主題】

教材の特質に応じた多様な指導

【活動計画】

・毎月一回の研究部会開催

・令和二年二月研究発表大会開催

・道德教育の充実を図る調査実施

②問題解決的な学習、道德的行為に関する体験的な学習が可能な教材の情報交換

③令和元年度全日本中学校道德教育研究大会・関東甲信越中学校道德教育研究大会の発表内容検討

○第五十三回全日本中学校道德教育研究大会鳥取大会

発表者 武田 彩 教諭(府中市立府中第一中学校)

テーマ「道德科における指導と評価の在り方」

○第四十八回関東甲信越中学校道德教育研究大会茨城大会

発表者 三浦 摩利 指導教諭(多摩市立多摩中学校)

テーマ「家庭や地域社会との連携を図った道德教育」

第三回 令和元年六月十五日(土)
会場 板橋区立赤塚第三中学校

①問題解決的な学習、道德的行為に関する体験的な学習が可能な教材の情報交換

②令和元年度全日本中学校道德教育研究大会・関東甲信越中学校道德教育研究大会の発表内容検討

第四回 令和元年七月六日(土)
会場 豊島区立西池袋中学校

①教材の特質に応じた多様な指導についてのワークシヨップ

○教材の特質から、問題解決的な学習に適した教材例

「納得できる答えとは？」(道德授業地区公開講座意見交換会導入ビデオ資料)

「裏庭のできごと」「卒業文集最後の二行」「二通の手紙」等

○教材の特質から、体験的な学習に適した教材例

「旗」「課長 島耕作」「笛」等

②令和元年度全日本中学校道德教育研究大会の発表原稿検討

第五回 令和元年八月五日(月)
会場 板橋区立赤塚第三中学校

①東京中学校道德教育研究会研究発表大会における教材と授業者検討

②令和元年度全日本中学校道德教育研究大会の発表資料検討

③令和元年度関東甲信越中学校道德教育研究大会の発表原稿検討

編集後記

日頃より、都中道研の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

この度、広報第一二二号をお届けいたします。今後も、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

広報部

部長 生野 まゆみ

(調布市立第五中学校副校長)

副部長 佐藤 正敏

(大田区立志茂田中学校副校長)

副部長 吉田 る実

(府中市立府中第六中学校副校長)

都中道研のホームページ

<http://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=1350004>